

道づくりだより

第34号

2010. 12 島根県道づくり調整会議



(主) 津和野田万川線 邑輝 工区 開通

CONTENTS

1. (主) 津和野田万川線 ^{むらき} 邑輝 工区の開通について
2. 朝山ふるさと農道が開通しました
3. (主) 大東東出雲線 小河内工区 完成！
4. (主) 上阿井八川線 ^{かみあいやかわ} 大馬木 ^{おおまき} 工区の完成について
5. 松江第五大橋道路（仮称）道路と橋の名称が決定しました
6. ひとあし お先に！ 縁結び大橋を渡橋
7. 浜田港の臨港道路について～福井地区～
8. 今冬の除雪体制について



（主）津和野田万川線 ^{むらき} 邑輝 工区の開通について

鹿足郡津和野町地内で事業を進めていました 主要地方道 津和野田万川線 邑輝 工区のバイパス工事（延長 1,620m）がこのたび完成し、平成 22 年 12 月 23 日に開通しました。

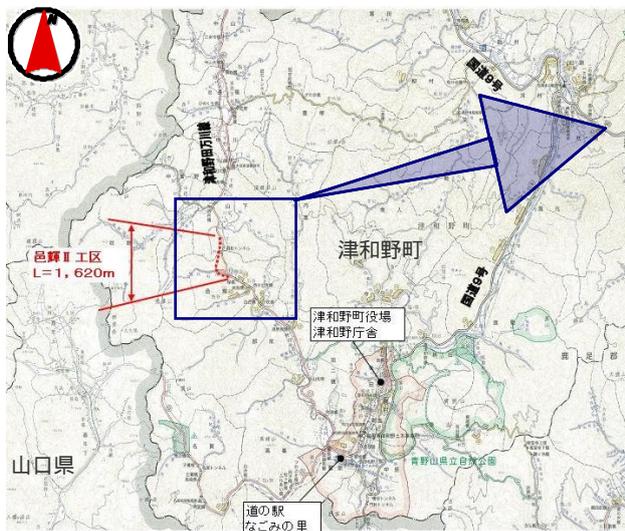
本路線は、津和野町の主要地方道萩津和野線から益田市を經由し山口県萩市田万川町の国道 191 号に至る県内延長 22 km の幹線道路ですが、このうち、津和野町山下と邑輝を結ぶ昭和トンネルは、幅が 4.8 m（うち車道 3.3 m）と狭く車両の離合が困難であったことから、通勤・通学・医療活動を始め、津和野町中心部と萩・石見空港のある益田市を結ぶ観光道路としても大きな支障となっていました。

このため、これらを解消することを目的とし、平成 13 年度からバイパス工事に着手していました。このたびの開通により、走行性・安全性が向上し、安心して走行していただけるようになるほか、観光道路として地域の発展に大きく寄与するものと期待されます。



【事業概要】

1. 事業主体 島根県
2. 事業年度 平成 13 年度～平成 22 年度
3. 工区延長 1,620 m（うち新昭和トンネル 909 m）
4. 道路規格 3 種 4 級
5. 幅員構成 車道 3.0 m × 2 車線
6. 総事業費 約 36 億円



開通式式典



テープカット



石見神楽



通り初め

朝山ふるさと農道が開通しました

朝山ふるさと農道は、出雲市所原町地内の市道と同市見々久町を結ぶ延長3,140mの農道で、平成15年度から整備を進めていましたが、去る11月13日に全線が開通しました。



『しまねの農業農村整備すごろく』

キャラクター ドジョウのどうじょ君

本地域は、出雲市南東部の小野川沿いに位置し、水稻やそば、しめじ、椎茸等の生産が行われている中山間農業地域です。また、ホタルの名所であり、毎年6月に「ほたる祭り」が開催されるなど地域活動も盛んです。

本農道の開通により、農産物の集出荷や通作に係る労力・経費の節減、輸送時間の短縮などによる農業生産性の向上はもとより、出雲市街地へのアクセス条件向上による生活環境の改善や他地域との交流促進が期待されます。



位置図

朝山地区ふるさと農道 L=3,140m



ほたる橋



開通した農道



竣工記念碑

凡	例
—	農道
—	国道
—	県道
—	市道、林道

国土地理院HP 地図閲覧サービスより

開通を記念して記念行事が開催されました

去る11月13日(土)に『朝山地区ふるさと農道整備事業建設委員会』主催による開通記念行事が開催され、知事、地元選出県議、出雲市副市長、地元市議、工事関係者、地域住民ら約50名が出席しました。

安全祈願祭及び竣工記念式典

竣工記念式典において、溝口知事が祝辞を述べました。



テープカット

開通にあたり、テープカットが行われました。



『ほたる橋』渡り初め

本年7月に地元の子供たちがお絵かき大会をした『ほたる橋』で渡り初めが行われました。



記念碑除幕式

溝口知事が揮毫した記念碑の除幕式が行われました。



事業概要

事業名：朝山地区 ふるさと農道整備事業

事業主体：島根県

工期：平成15年度～平成22年度

事業費：約8億5千万円

延長：3,140m

幅員：全幅員6.0m、車道幅員5.0m



主要地方道 大東東出雲線 小河内工区 完成！

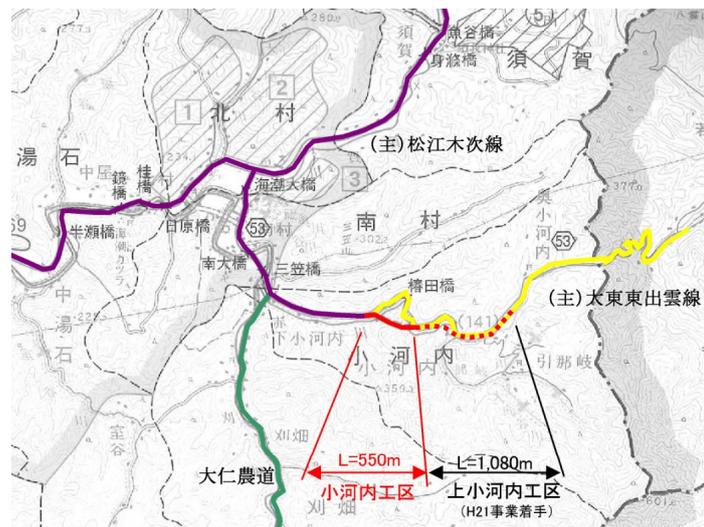
主要地方道大東東出雲線は雲南市大東町北村の主要地方道松江木次線を起点とし、松江市八雲町を経由し、八束郡東出雲町に至る路線です。沿線には年間30万人の入込客がある熊野大社があり、また本工区の小河内地内では6月になるとホテルが乱舞し、自治会で開催される「ホテルと神楽の夕べ」は多くの見物客で賑わっています。また本路線の沿線住民の交流組織として「スサノオ交流会」が毎年開催されており、市町を超えた活発な地域間交流が行われています。

一方で道路の現状としては、本工区～市境峠付近は未改良となっており、幅員が3m程度の区間がほとんどで、車のすれ違いが困難な状況であり、見通しが悪い箇所や急カーブの箇所も多く、交通の支障となっていました。

そこで、生活道路としての安全性・利便性の確保、高速道路アクセスの向上、地域間連携の促進、観光の振興を目的として、本事業において2車線化を行い、この度無事完成となりました。

完成を祝して、地元住民の方々により渡り初め式が12月12日に盛大に行われました。

位置図



事業概要

工区延長：550m 道路規格：第3種第4級 設計速度：40km/h

幅員構成：車道2.75m×2、路肩0.75m×2、合計7.0m

事業期間：平成11年度～平成22年度（17年度～19年度は休止）

完成式典



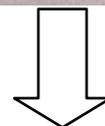
かみあいやかわ おおまき

(主)上阿井八川線大馬木工区の完成について

1 事業経緯

当該工区（大馬木工区）の周辺には馬木幼稚園、馬木小学校等が位置しており通学児童等の歩行者が多い区間ではありますが、歩道が未整備であったため通勤通学時には自動車と歩行者が輻輳し、大変危険な状態でした。

この状態を解消するため、歩道が未整備区間であった女良木（めらぎ）から大原までの延長約2,040m区間を交通安全事業（大馬木工区）として平成16年から事業着手し、この度全ての工事が完成しました。



歩道整備により安心安全な道路空間が形成されました



2 事業概要

- ・事業延長 2,040m
- ・事業期間 H16～H22
- ・総事業費 4.5億円
- ・幅員構成 車道5.5m
(2.75m×2車線)
歩道2.5m



事業延長 L=2,040m

(主)玉湯吾妻山線

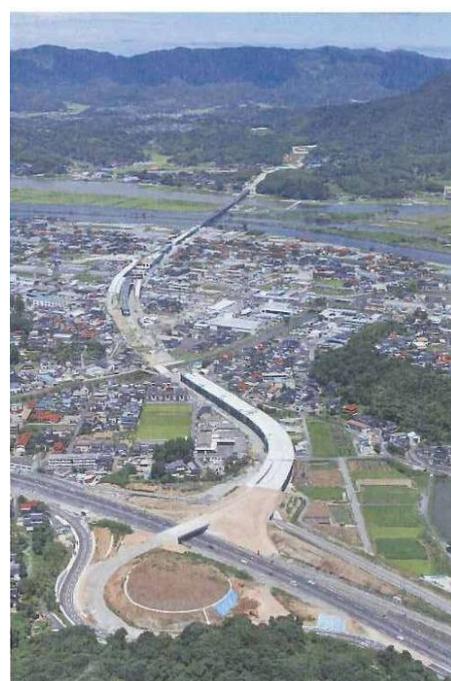
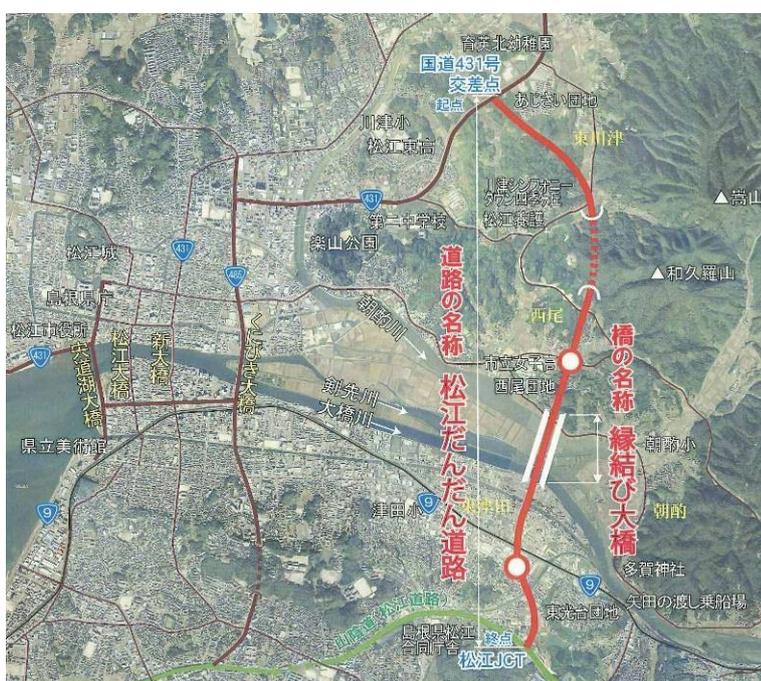


松江第五大橋道路（仮称） 道路と橋の名称が決定しました

道路の名称：「**松江だんだん道路**」 橋の名称：「**縁結び大橋**」

「松江第五大橋道路（仮称）」が、将来にわたって、宍道湖・中海圏のシンボルロードとして多くの方に親しまれ、利用していただけるように、道路全線の名称および大橋川から朝酌川間の渡河部橋梁の名称を平成22年10月1日から10月31日まで募集したところ、道路名称1,318作品、橋の名称1,545作品のご応募をいただきました。

みなさまからご応募いただいた作品は、「道路・橋梁名称選定委員会」において選定し、道路と橋の名称を決定しました。



決定 名称	松江だんだん道路 (まつえだんだんどうろ)	縁結び大橋 (えんむすびおはし)
選定 理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方言が入っており、親しみやすい。 ・ 地名を付けることで、県外の方に「どこの道路か」、ドライバーが「どこを走っているか」など、わかりやすい。 ・ 松江を訪れる方々、建設に協力頂いた地域の方々などに対して、色々な意味で感謝の気持ちが表れている。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔から関わりの深い南北の地域が橋で結ばれることによって、様々な交流が盛んとなる期待が込められている。 ・ 「縁結び」は、観光などのキーワード。 ・ 橋には歩道もあり、人々が行き交うことで縁も結ばれる。 <p style="text-align: right;">など</p>

ひとあし お先に！ 縁結び大橋を渡橋

11月29日（月）大橋川橋梁部の舗装基層部施工完了に伴い、近隣の朝酌小学校（40名 6年生 4年生 2年生）を招き、第五大橋道路事業や橋についての説明を行い、渡河部610mを東津田側まで徒歩で渡りました。



鉄の橋についてペーパークラフトを用いて説明
「こんなに強くなるんだ」との驚きの声も！



コンクリート板（無鉄筋、鉄筋、プレストレス）の
3枚を準備し乗って丈夫さを比べます。
「え～ このコンクリートの板は壊れないよ。」



ちょっと風が強い



東津田側に到着

・朝酌小学校児童のみなさんの声
「景色がいいよ。」「サティ（商業施設）まで近くなる。」「川の途中で仕切りがあるんだ。」「（大橋川、剣先川の背割り堤のこと）・・・etc

実施 高規格道路事務所
第五大橋道路安全協議会（施工業者 30社）

浜田港の臨港道路について ~ 福井地区 ~

「浜田港」は、島根県が管理している港では唯一の国際貿易港で、「鰐石地区」「長浜地区」「福井地区」の3地区から構成されています。

今回は、県内の港湾で唯一国際定期コンテナ航路が発着する「福井地区」の臨港道路について紹介します。

【福井地区の概要】

福井地区は、浜田港の中で最も新しい多目的国際ターミナルを有する地区です。

昭和50年度から福井ふ頭の整備を開始し、今の福井1号、2号岸壁が昭和54年度に完成しました。

その後、環日本海交流による対岸貿易も含めた流通拠点としての物流機能の強化を図るため、国（旧運輸省）で大型貨物船（5万5千DWT）が係留できる大水深（暫定-12m）の福井3号岸壁を、島根県で震災時にも船舶が係留できる（耐震岸壁）福井4号岸壁の整備を行い、平成11年度に現在の福井ふ頭が完成しました。

平成13年度には福井ふ頭内にコンテナターミナルも完成し、同年に韓国釜山港とを結ぶ国際定期コンテナ航路の就航、平成20年にはロシア・ウラジオストク港間にコンテナ輸送も可能なRORO（ローロー：車両を自走で積み卸しできるという意味）船航路が開設され、発展著しい北東アジアとの交流拠点として、重要な役割を果たしています。

福井地区で取扱われている貨物は、コンテナの外に従来から取扱いのあった原木、セメント、石材に加え、中古自動車の輸出や石炭の輸入も開始されています。

また、近年は国内最大の豪華客船「飛鳥」をはじめとする大型クルーズ客船の寄航にも利用されています。

福井ふ頭背後には、セメント会社、中古車輸出会社、石炭ヤード及びポートセンター等が立地し、浜田港を管理する浜田港湾管理所もポートセンターに入所しています。

ポートセンター東隣には、地元の方をはじめ、港湾来訪者の憩いの場となる港湾緑地（公園）もあり、災害時には、一時避難場所や救援物資置場としても利用できるようになっています。



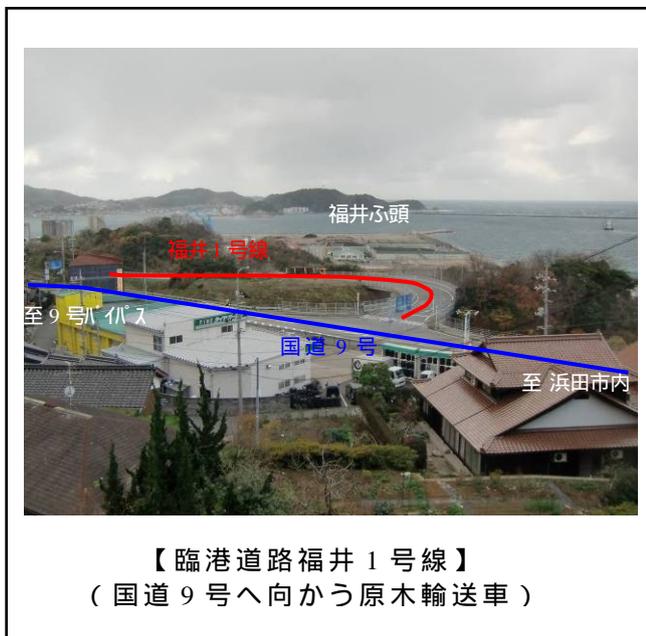
【福井地区臨港道路】

福井地区の臨港道路は、基幹道路の国道9号と繋がる臨港道路福井1号線を始め、地区内に整備された福井2号線、3号線、臨港ふ頭線等で構成されており、全延長約1,800mとなっています。

特に福井ふ頭と国道9号を結ぶ福井1号線は、昭和53年度に事業着手し、国道、JR、県道に挟まれ制約された用地内での工事であったこと、地盤が脆弱な地質であったことから、難工事となり、JR山陰本線を跨ぐ延長約70mの橋梁「比丘尼橋」の整備を含め、平成2年に完成しました。

福井ふ頭で取り扱われる貨物は、セメント、石材、原木、石炭、中古車、コンテナと多種にわたるため、さまざまな車両が臨港道路を通行します。

それらの貨物は、臨港道路を通して県西部や広島圏域へ配送または集荷されており、臨港道路は経済活動にとって重要な役割を果たしています。



臨港道路とは... 港湾施設間の連絡及び港湾周辺の一般主要幹線とを結ぶ道路です。
 国道、県道、市町村道は「道路法」に基づく道路です。
臨港道路は「港湾法」に基づく道路です。
 道路法に基づかない道路は、他にも農道や林道などがあります。

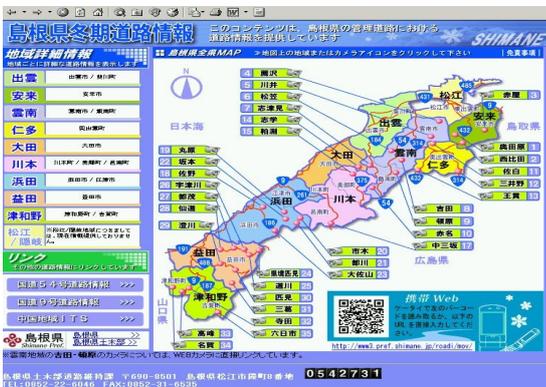
今冬の除雪体制について

【今年度の除雪体制】

島根県全体で229路線2,918.8kmを県保有機械123台（うち除雪機械84台、凍結防止剤散布車（機）35台、歩道除雪車4台）業者保有機械305台の計428台で除雪を行う体制を整えています。

【冬期道路情報について】

今年度も12月1日より島根県のホームページより冬期の積雪状況等の映像を公開をします。今年度システム更新を行い、データ更新間隔を1時間から気象データを10分、カメラ映像を5分間隔での更新に変更しました。



冬期の積雪状況等の映像をホームページで公開しています

<http://www3.pref.shimane.jp/roadi/index.html>

長期除雪従事者へ感謝状を贈呈しました（県央県土整備事務所）

除雪業務は、冬期における地域住民の生活路線及び公共交通等の交通確保のために必要不可欠な業務です。この業務は、天候の具合に大きく左右されるため、早朝から深夜にかけて不規則に実施する必要があり、直接現場で従事する重機オペレーターの方々のご苦勞は察するに余りあるものです。

そこで、県央県土整備事務所では11月17日、管内で長年除雪業務に従事し続けられた重機オペレーターの方々に功勞と貢獻を称える感謝状贈呈式を行いました。感謝状は、管内で25年以上にわたり除雪業務に従事したタイヤドーザーやグレーダーなどの重機オペレーター19名の方々へ贈呈しました。

なお、大田事業所管内においても、同日、同様に5名の方々へ感謝状の贈呈が行われました。



感謝状贈呈式の様子（本所）